

一般質問・質疑

十二月七日と八日の本会議では、十九人の議員が質問に立ち、中学校給食や防災の取り組みなどについて、市の見解を求めました。

なお、発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は二面から四面に掲載しています。

発言者一覧

—発言順— ()は会派名

山崎雄史(真誠会)

①中学校給食の早期実施に向けての進捗状況
②明石市のスポーツ振興

永井俊作(市民クラブ)

①地域主権と市民主権、地域自治包括交付金
②5市民センター構想 ③市民会館の指定管理者の変更
④中学校給食への泉市長の思い

中西礼皇(次世代明石)

①明石市における読書の環境 ②たこフェリーの再開

富田賢治(民主連合)

①市バス廃止による市民サービスへの影響とそのスケジュール
②時のまちの観光の取り組み
③保育所における待機児童解消
④庁舎の危機管理

辻本達也(日本共産党)

①新年度予算編成方針 ②たこフェリー
③コミュニティバス ④公契約条例 ⑤水道メーター取替え業務の委託状況

大西洋紀(政和会)

①市長の政治姿勢と政治手法 ②市長の危機管理意識 ③中学校給食実施の是非

佐々木敏(公明党)

①小学校給食の有効利用 ②市民会館・西部市民会館・市民ホール等のトイレ
③明石市民便利帳の市民目録での更新を
④西朝霧丘市営住宅の外周の安全対策

寺井吉広(真誠会)

①自転車の安全対策 ②ひとり暮らしの高齢者
③障害者福祉

遠藤恒司(市民クラブ)

①市長の政治手法とその手腕 ②駐車事業の費用対効果
③観光事業の展開 ④明石商業高校の第2グラウンド建設

木下康子(次世代明石)

①防災の取り組み ②情報システムの最適化
③指定ごみ袋の導入 ④明石市放課後児童健全育成事業

西川あゆみ(日本共産党)

①原発からの撤退と再生可能エネルギーへの転換
②介護保険 ③学校給食

辰巳浩司(政和会)

①ロマンあふれる明石の歴史 ②明石市土地開発公社の今後
③プラスチック製容器包装の分別収集モデル事業
④明石市民の健康づくり

松井久美子(公明党)

①市長が目指すまちづくり、安全、子ども、地域の具体的な展開
②女性の視点からの防災対策
③明石市の入札制度
④たこバスの現状と取り組み及び今後の進め方
⑤次代を担う子どもの文化芸術体験事業

北川貴則(市民クラブ)

①日本一安全なまち明石の実現のための危機管理
②良識ある愛犬家のためのドッグランコーナー
③2012年の成人式
④たこフェリー

新田正彦(次世代明石)

①地域に開かれた学校づくり ②(仮称)地域交付金制度導入

樽谷彰人(政和会)

①中心市街地活性化基本計画における明石駅前南地区再開発事業
②西明石活性化
③生活保護費
④副市長の選任

国出拓志(公明党)

①市庁舎内の公有財産の利活用
②社会福祉協議会の出先
③ファミリーサポートセンター
④求職中の方の子どもたちの保育所入所
⑤各小中学校に製氷機を設置できないか
⑥蜂の巣駆除のためのアイテム無料貸出制度

尾倉あき子(公明党)

①議案第122号 平成23年度明石市一般会計補正予算における子宮頸がん予防接種事業費
②食のまち明石を活かした観光振興

灰野修平(志気の会)

①人口減少時代における本市の人口増加対策
②ワンストップ窓口・サービス
③緊急経済対策事業における市内商業の活性化

スポーツで明石の魅力を創出

リレーマラソン大会を検討

問 神戸マラソンは盛況だったが、本市においても、にぎわいづくりの観点から、スポーツ関連の大きな大会を実施する必要があると思うが市の考えは。

答 スポーツ振興は、市民の生きがいや健康づくりだけでなく、まちのにぎわいづくりにもつながることから、非



明石公園で開催した駅伝大会

休止から一年

たこフェリー

年明けに方針示す

問 市長のたこフェリー再開への意欲を聞く。

答 たこフェリーの休止から一年が経過するが、早期再開を目指し、平成二十三年九月には淡路三市とともに国に要望を行い、十月には市長自ら国土交通省に要望してきた。一方、県および関係市で小型船

再生可能エネルギー

明石は太陽光に期待 新たな構想案が必要

問 持続可能で安全な再生可能エネルギーの普及・拡大が求められているが、本市における推進策について聞く。

答 本市が再生可能エネルギーを導入するには、風力発電は風速が十分でなく、水力発電は土地の高低差が少ないた

市民主体のまちづくり

地域交付金制度 モデル事業を実施

問 市民主体のまちづくりに向け、市が検討中の(仮称)地域交付金制度について聞く。

答 地域への交付金については、協働のまちづくりの一環として進めており、その導入により、それぞれの地域に合った状況や課題が異なる中、地域の裁量で、実情にあわせたサービスや解決策を効果的に展開できると考えている。

問 津波の想定

答 津波の想定は、津波の高さを3・45メートル、津波の到達時間は、津波の発生後八十分から百分で到達する。市の沿岸部の海抜はおおむね3メートルあり、防波堤や護岸が整備されているため家屋が倒壊、流出する可能性は低い。しかし、浸水が想定される区域では避難する必要があることから、沿岸部の小学校区で順次説明会を開催している。今後は避難訓練等の実施や避難場所および経路の検討を進めていく。また、市役所が使用できない場合の対策を含めた業務継続計画の策定など、防災力強化に努める。

問 10年後も人口維持
市民幸福度
日本一のまちへ

問 第五次長期総合計画では平成三十二年の人口目標を約二十九万人としているが、具体的な人口増加策を聞く。

答 本市としてはさまざまな世代の流入や定住を促進していくが、単に人口を維持するだけではなく、明石に住んで幸せだと思える市民幸福度日本一のまちを目指していく。

問 東日本大震災を教訓に
防災対策に女性の視点を
ソフト面に課題

問 東日本大震災の教訓から、全国で防災対策を見直す動きが活発化している。本市の防災

大震災で課題となった災害弱者の視点を踏まえたソフト面の充実も重要と認識している。女性委員の登用をはじめ、防災会議のメンバーの選任について見直しするとともに、防災対策で重要となる地域の取り組みについても女性の視点に立った意見が反映されるよう助言していきたい。